

# かまた礼二の 議会だより

第15号

2017年 1月 1日発行



発行者

塩竈市議会議員 鎌田礼二

〒985-0077 塩竈市梅の宮 1-26

・TEL & FAX 022-365-9626

・mail kamata02@c-marinet.ne.jp



## 皆様にとって良い年でありますように



新年、明けましておめでとうございます。

今年は、酉年ですが縁起として酉(トリ)は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから運氣も取り込めるとも言われています。また、

物事が頂点まで極まった状態が、酉年だとも言われており、色々な面で成果が得られる年になるかもしれません。運氣や有効な情報を取り入れ、自分にとっても実りある一年にしたいものです。

今年も市民のため塩竈市のため全力を尽くし、一生懸命頑張りますので、ご支援を宜しくお願い致します。

## 昨年2月定例会から12月定例会までの一年

初心を忘れず、市民の声を行政に伝えそして提案して参りました。昨年、一年間の主な活動。

- ①かまた礼二の議会だより14号の発行
- ②平成28年度予算特別委員会の委員長
- ③2月定例会議での施政方針に対する質問
- ④6月・9月・12月定例会議での一般質問
- ⑤熊谷大を励ます会を兼ねて鎌田礼二の議会報告会を5月に開催
- ⑥鎌田礼二の議会報告会を11月に開催
- ⑦鎌田礼二後援会の交流会(3回目)を開催
- ⑧市民クラブの会長としての会派活動

## 平成28年度予算特別委員会

2月29日、議員全員をもって構成する平成28年度予算特別委員会が設置され、正副委員長の互選を行い、私が委員長に選任されました。

委員会は、関係当局、理事者の出席と各種資料の提出を求めながら、2月29日、3月1日、3月2日及び3月3日の4日間にわたり、平成28年度

当初予算(一般・特別・企業会計)約690億5千万円について詳細な説明の聴取と活発な質疑を行い、慎重に審査を進めました。

なお本委員会は議案第25号及び第29号に対し、附帯決議を付することに決しました。議案第29号の附帯決議は次のとおりです。

◎議案第29号(海岸通地区震災復興市街地再開発事業)

- 一. 開発可能な採算ラインとすべきである。市は、公的支援等の経過を速やかに市民・議会に報告すること。
- 一. 過去に市の財政負担が拡大した反省をふまえること。
- 一. 交流人口の拡大に向け、関係機関との協議に努めること。
- 一. 市は責任を持って事業執行に努めること。

## 施政方針に対する質問と一般質問

2月定例会議での施政方針に対する質問と6月・9月・12月定例会議での一般質問の概要は、以下の通りで提案型の質問を行っています。

◎2月定例会議での施政方針に対する質問

・市の人口が5万5千人を割り込んでいる。ありきたりの人口増加策だけではいけない。

平成28年度より子ども医療費助成を中学3年生まで拡大するが、私は、人口増加策の一環として、ここは一気に高校3年生まで引き上げるべきではないか。そのことにより塩竈市の評価が上がるのではないか。

・塩竈魚市場は、水揚げ量で県内4番目、金額で3番目である。石巻や気仙沼に負けない競争力が必要であり、新たな取り組みが必要である。

外洋から塩竈港は遠いが、魚市場から高速道路に近い、それが消費地に近いということになる。利府中インターと45号線間の早急な道路整備が必要である。

・児童生徒の学力向上対策として放課後児童クラ



2016年5月 熊谷大を励ます会で佐藤市長

ブ(学童クラブ)は、児童の預かりだけではなく勉強が出来る塾的要素をもったものにすべきではないか。

- どの町内会でも防犯灯の電力使用が町内会会計に占める割合が高くなっている。市で予算化し一機にLED化を進めるべきである。
- 道路整備の予算が少なすぎる。ニーズに応える予算とは思えない。もっと増やすべきである。
- 貞山1号岸壁の整備と水深-9mの航路浚渫が実現すれば塩竈の未来が大きく変わる。県に対して今まで以上に強く要望していくべきである。
- 浦戸の島民人口が震災以前より増えて、はじめて真の浦戸が復興したと言えるのではないか。将来的には、4島を結ぶにしろまず宮戸・寒風沢間の架橋の実現が必要である。

また、浦戸小中学校を寄宿舎制にすれば、島に一つの産業が生まれ、定住人口も増える。全国から入校希望者が増えるのではないか。

- 交流人口を拡大する一番の方法は、塩竈神社と町中の駐車場(マリンゲート付近)とのルートをつくることではないか。また、「勝画楼」と「洋式灯台の台座」は、観光の目玉になる。解体復元(少し手前に移設)するよう市長は塩竈神社と交渉(市が取得し復元)すべきである。灯台の台座に当初計画されていた灯台を設置してはどうか。

※12月15日の河北新報にて勝画楼解体の報道があり、12月定例会議の最終日に「勝画楼保存に向けての決議」が全会一致で議決された。

- 塩竈市立病院の健全化に向け改革を進めているが、もう公立病院としては限界なのではないか。現在、一般会計から支援を行っているが、これは決して健全な経営とは思えない。

### ◎6月定例会議での一般質問

- 市立病院は、全職員一丸となり改革に取り組み、ある程度の成果は認められるものの、現在の所

から移転するか又は、民営化の道しかないと思う。今後の動向を注視したい。

- 18歳選挙権について、マスコミによると選挙の知識を教えるだけではなく、投票について深く考えさせる授業が広がっている。

中学校の授業で政治。選挙の重要性を授業に取り入れる等の攻めの政策が必要なのではないか。将来の投票率アップや政治・議会への関心が高まり、ひいては市民意識の向上につながると思います。

- 待機児童については、一定の要件に満たず希望する保育所に入れないケースが多い。こういったことがないように塩竈市として努力する必要があるのではないか。こういった配慮が、定住増加策の一つになるのではないのでしょうか。
- 市内各所で道路の整備不良が認められる。来年度の一般道路整備費のアップをお願いする。

また、特に私道は、整備が進んでいないのが現状である。私道も含めた道路整備により、利用する老若男女、誰しもが恩恵を受け、住みやすい塩竈となることで、定住人口増加の一因になると考える。私道整備補助事業の補助率が低いため整備が進まない。この予算を増やして補助率を上げることにより、制度の活用を図る必要がある。

- 災害復興住宅について、震災時北浜に住んでおり被災し、災害公営住宅は最初か北浜に応募していたが、抽選になった。何故、こういったことが起こるのか。こまめな調査や打合せを行っていなかったのではないか。希望に沿ったかたちでお願いしたい。
- 平成26年9月定例会議で宮戸・寒風沢間架橋実現に向けての決議が全会一致で可決した。

当局で架橋設置等の可能性について調査を実施した結果では、約70%の方が、浦戸地区に架橋は必要であると回答し、そのうち、約45%が「塩竈市側との間」、約25%が「宮戸との間」、約20%が「島内架橋」となっている。

総合評価では、島内架橋は、市単独事業となるが、宮戸間の架橋は補助事業化の可能性が残るとされており、最も可能性が高いという結果である。また、景観上の問題は、沈埋トンネルの

手法で解決できる。

### ◎9月定例会議での一般質問

・議会中継は、宮城ケーブルテレビが開設された当初より議会中継が行われており、議会や行政に関心をもって議会中継を見ている市民はかなりの多い。そんな中、ケーブルテレビによる議会中継が、本年6月定例会議をもち中止となった。

また、インターネット中継とケーブルテレビ利用者層が違ふことと、行政としての情報公開の観点からもケーブルテレビによる議会中継が必要である。早急に再開すべきである。

※ケーブルテレビによる議会中継の再開をもとめる議案が、9月定例会議の最終日に全会一致で可決された。また、12月定例会よりケーブルテレビによる議会中継が再開されました。

・塩竈市立病院への実質の一般会計からの負担が、毎年約5億円である。公立病院の役割を果たしてはいるものの市民に対する負担があまりにも大きい。年間5億円もあれば、道路整備や街灯のLED化、数々の子育て支援等の人口増加策等に十分に使える金額である。

また、現在の市立病院の位置や建物では限界で、大きな収支改善は望めない。PFI等により民間の力を借りての病院の建てかえが必要であると思う。

一般会計からの年間5億円と新病棟からの売り上げで返済が可能と考える。また、市役所と病院を併設し建設しても良いのではないかと。今後の職員の頑張りも違ふのではないのでしょうか。



### ◎12月定例会議での一般質問

・塩竈市の人口減少は、市税の減少を招きそれが行政の停滞につながる、更に人口減少と悪循環となる大きな問題である。

人口増加策として他市町村で実施していることも必要ではあるが、ありきたりの対策だけでは

大きな効果は望めない。他市町村に無い大胆な政策が必要だと思う。

まず、塩竈市にとっては、もっと働き場所が必要であり魚市場の水揚げの拡大が望まれる。水揚げの拡大は、関連業種労働人口増加にも繋がり塩竈に住むきっかけにも成りうると思う。水揚げの拡大を見据え市場の一元化が必要となる。新魚市場の完成前に一元化を図るべきである。

また、子育て支援、学力向上に向けた取り組みや町内街路灯のLED化、私道の整備助成率を上げる等により住みやすい環境整備に努める必要があると考える。

- ・今年2月定例会議で、本塩釜駅前商店街1番地区2番地区関連で復興交付金からと一般会計から合わせて8億3千万円を付帯決議付きで議会承認しているが、未だ承認していない地権者が居ると聞いている。付帯決議に記載されており市が責任をもって事業執行に努めること。
- ・昨年、塩竈独自の「いじめ防止条例」を制定しました。

「いじめ防止条例」施行後の問題は無く効果が表れているようであるが、最近、教師からの言葉による暴力(パワハラ)等が、マスコミで報道されている。そういったことは、塩竈では無いのでしょうか。

教育委員会として、教師が児童生徒への指導不適切等も含めた対応が必要なのではないか。教職員間の人間関係やストレスから児童生徒へのパワハラに繋がることも十分に考えられる。そういったことが起こらないよう教職員への配慮もお願いしたい。

### 少林寺拳法塩竈道院 入門者募集

3才児から高齢者まで もちろん女性も

- ・会 場 少林寺拳法塩竈道院 専有道場  
(市内梅の宮:長沢郵便局向)
- ・稽古日 毎週火・木曜日 午後 6:30~9:00  
(年少者は8:00まで)  
土曜日 午後 1:30~4:00  
(年少者は3:00まで)
- ・連絡先 TEL 090-8921-3783(鎌田まで)

少林寺拳法塩竈道院 検索



# 始めてくたさい 体験から まずは



question  
どんな練習をしているの？

answer  
突き・蹴りを主体とした剛法、手をつかまれた場合に抜いたり、投げたりして対処する柔法をバランスよく練習します。練習は二人一組で行い、技のほかにも、学科や法話を学び、体と心の両面を鍛えます。



question  
どんなことが身につくの？

answer  
体と心の両面を鍛え、少しずつステップアップしていくことで自信が生まれます。また、二人一組での練習では、相手を尊重し、相手と協力するといった、人間関係の基本的な能力が育まれます。特に、挨拶、返事、言葉遣いを大切にしますので、集団生活に欠かせない礼儀作法や協調性が身につきます。

これらの行は、金剛禅総本山少林寺に伝承する「宗門の行」です。

自分の可能性を信じて  
できる人



しょうりんじけんぼう  
少林寺拳法が  
めざにんげんぞう  
目指す人間像

みんなとともに  
協力しあえる人



他人の幸せを考えて  
行動できる人



自分の考えをはっきり  
言えて行動できる人



正義感と勇気と  
思いやりを持って  
行動できる人

